

防犯カメラから始まる 次世代マーケティングの新潮流

株式会社イグアス



本日のアジェンダ

・監視(防犯)カメラの市場動向

・監視動画とマーケティングについて

・ 笑顔認識アプリケーションを利用したマーケティング 活用について

自己紹介



名前: 大塚 将由(まさよし)

所属: 株式会社イグアス

テクニカル&クラウド事業部

ソリューション営業部

職種: プリセールスエンジニア

担当: 主にEagle EyeとloT関連

成分: インフラSE(8年分)

マネージャ(2年分)

プリセールス(8年分)

アナリティクス(3年分)

Bluemix + IPカメラ(2年分)

セキュリティ市場における 監視(防犯)カメラの市場動向



監視カメラの市場規模

転載不可 (Web等でご参照下さい)

カメラ単体からシステムへ、 監視から異常予知、2次利用へ

- ・ 世界的にも2018年にはIPカメラの出荷台数がアナ ログカメラの出荷台数を凌駕
- ・ 画像解析による異常事態や犯罪対策における予 知に活用する事例も
- ・ マーケティングにおける高度な利用も期待

アナログカメラとIPカメラは伝送方式の違いは?

- ・ IPカメラはカメラ内で動画をデジタル化し、TCP/IPで転送される
- ・ アナログはアナログ信号のまま転送し、録画装置でデジタル化、保管される

監視力メラの「いまで」と「これから」

監視カメラはどうなるのか?

いままでの(オンプレミス)監視カメラシステム





- インターネット回線が細い
- ・情報漏洩への懸念

セキュリティ担当者はセキュリティの観点から、カメラデータの2次利用やクラウド対応には後ろ向きになりがち。





お得意様が来店した ときにすぐわかるように 動画の2次利用を したいのに・・・



外出していても、 いつでもお店の状況が 見たいのに・・・

監視カメラはどうなるのか?

これからの(クラウド型)監視カメラシステム



- 帯域制御で狭帯域もOK
- 全暗号化で情報漏洩対策

セキュリティ担当者はいままでのハード ウェア障害からも開放され、安心して 業務に専念!





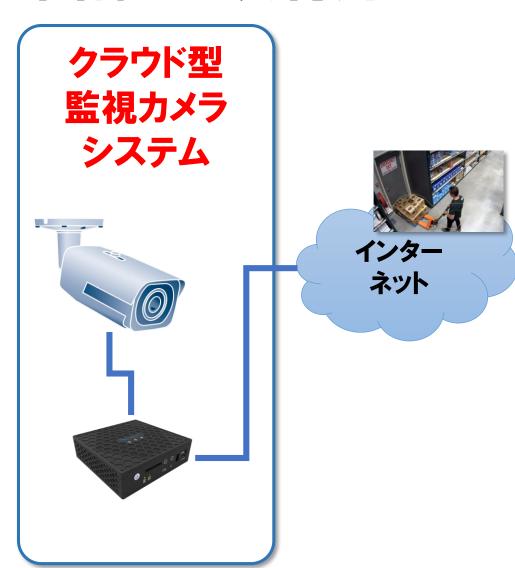


動画の2次利用で 最新の画像解析を 実現できる!



クラウドにアクセスで 24時間どこからでも お店の状況が すぐわかる!

画像の2次利用=マーケティング活用!



人数カウント

・特定領域に出入りする人物をカウント

動線分析、ヒートマップ

・人物の動きをトレースし、ヒートマップなどで可視化

人物属性解析

・顔などから人物の性別や年令などを推定

顔認証

・顔から特徴量を取得し、人物の特定を行なう

滞留測定

・特定エリアでの混雑度を計測

マーケティング

マーケティングとは?

マーケティング(英: marketing)とは、企業などの組織が行うあらゆる活動のうち、「顧客が真に求める商品やサービスを作り、その情報を届け、顧客がその価値を効果的に得られるようにする」ための概念である。また顧客のニーズを解明し、<u>顧客価値</u>を生み出すための経営哲学、戦略、仕組み、プロセスを指す。

Wikipediaより

(https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9E%E3%83%BC%E3%82%B1%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%B3%E3%82%B0)

「真に求める」商品やサービス

- ・お客様の「真に求める何か」の追求が、マーケティングの本質
- 売りたいものをどのように売るかという観点ではない



- ・お客様の「真に求める」を完全に把握することは不可能
- 少なくとも「店舗の中」であれば「ほしいと感じているモノを感じる」 ことはできるはず

例えば滞留と動線

【仮説】お客様が多く、または長い時間いた場所、棚、商品の前こそ、 お客様が求めているものがあるのでは??

【反駁】

・・・各店舗は最低限の人員で業務を行っており、常時監視は不可能



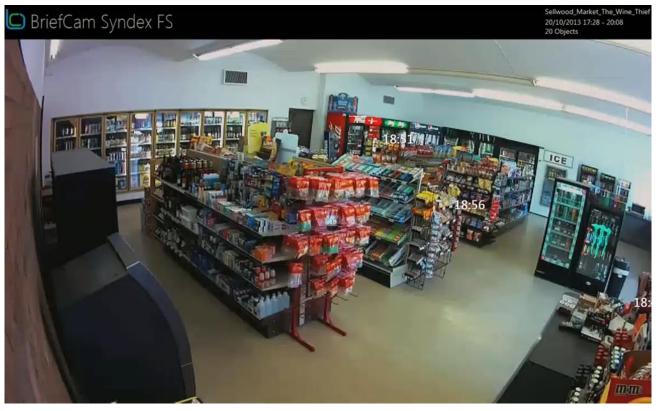
【対案】

自動でお客様の流れを読むこと はできないのだろうか?

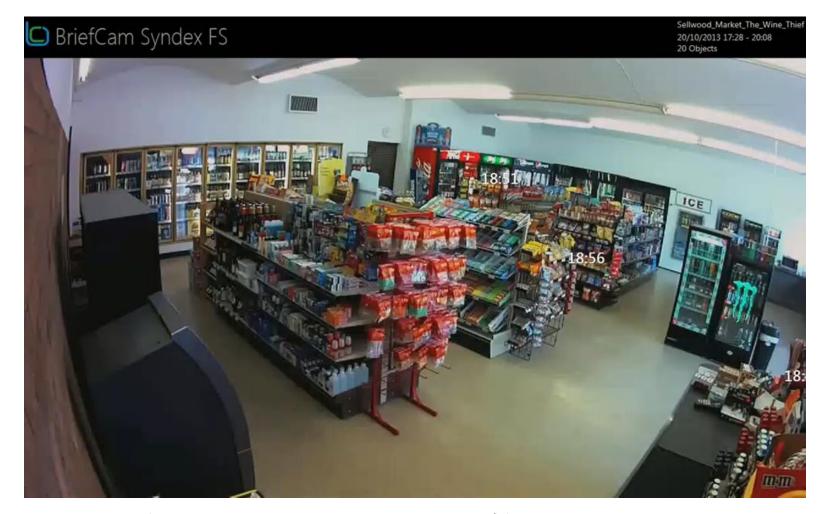
滞留、動線分析の自動化

【解1】人の流れをデータ化して ヒートマップとして表す





【解2】人の流れをそのまま動画で 確認する



本動画はYoutubeでご参照頂けます

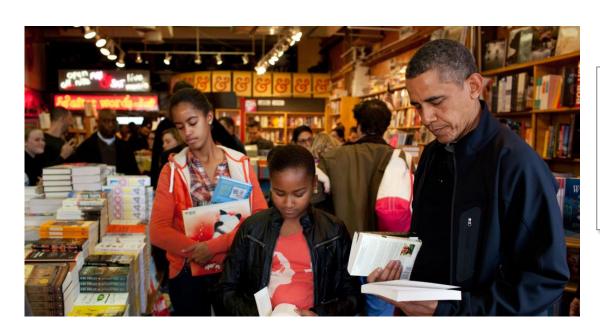
https://www.youtube.com/watch?v=XjAOHu1uiEQ

例えば個人特定や属性特定

【仮説】実際に購入に及んだお客様の性別、年齢、その時の感情などはわかるが、購入しなかった人の情報がわかれば店内で応対ができるのでは?

【反駁】

・・・適当に回答する人や適当に調べる店員がいれば、意味の無いデータになる



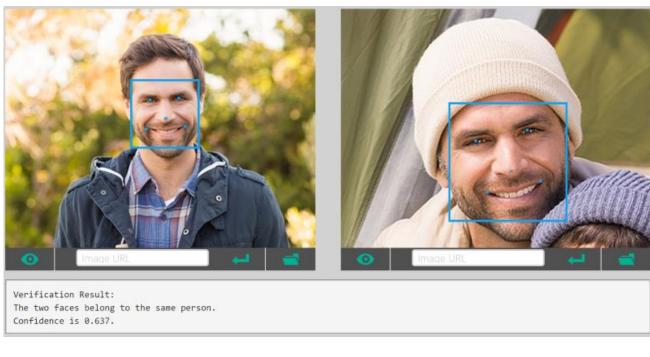
【対案】

自動でお客様の情報を読むこと はできないのだろうか?

人物の顔による個人特定、属性判別

【解1】AIで人物属性を自動で 読み取る





【解2】AIで顔の固有情報から 個人を特定する

人物の属性自動認識の適用業務例

- ・面接、面談後の表情の読み取り
- ・コールセンターでの業務中の総合的な表情の読み取り
- ・組織移動前後の表情の読み取り

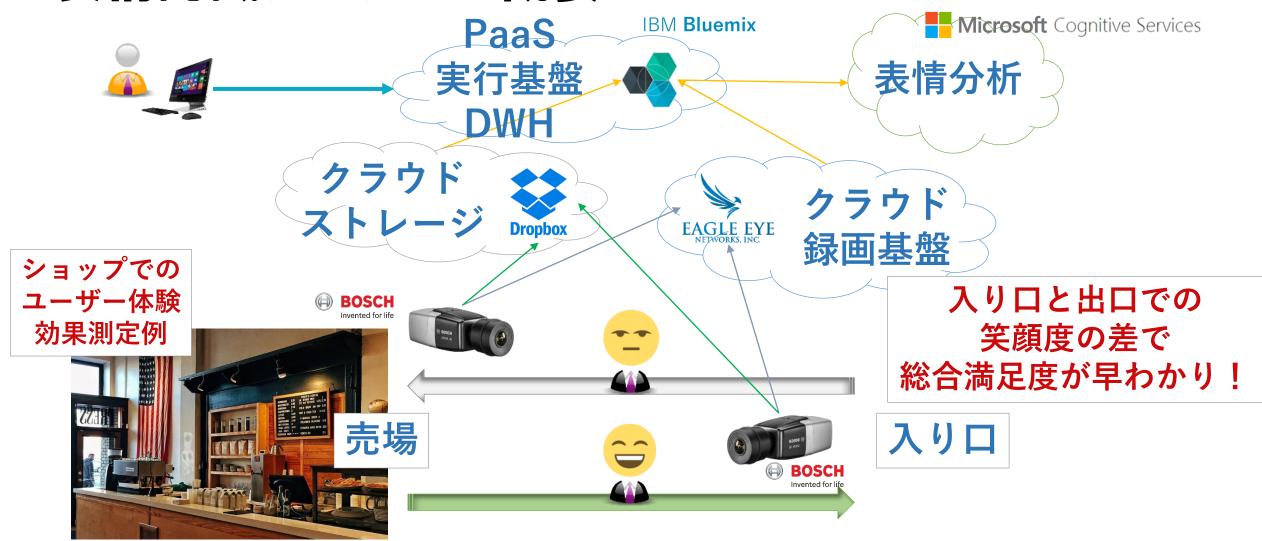
従業員との接遇改善にも効果を発揮

表情認識システム

表情認識システムの目的

IPカメラを使用して年齢、性別、そして表情を「自動的に」読み取って、 顔属性データをDB等に蓄積し、 レポーティングできること

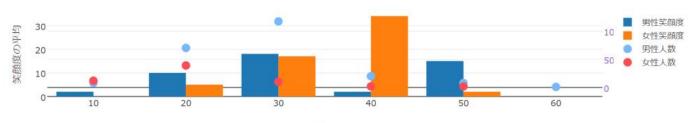
表情認識システムの概要



完成画面イメージ

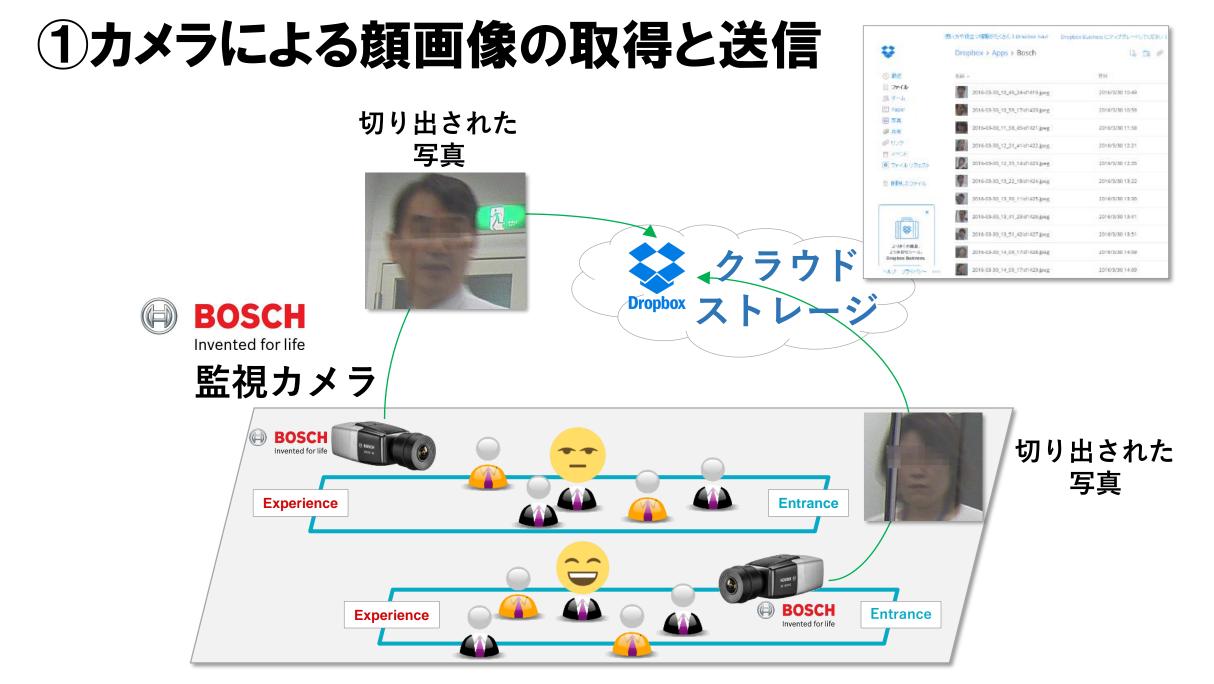
Emotion Recognition System

年代(10歳)毎の笑顔度の平均





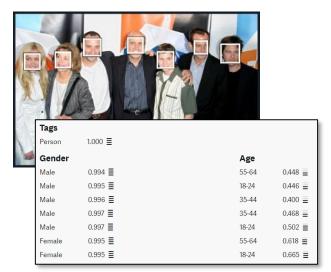




2顔情報の認識



年齢、性別 認識機能



Watsonによる 顔認識

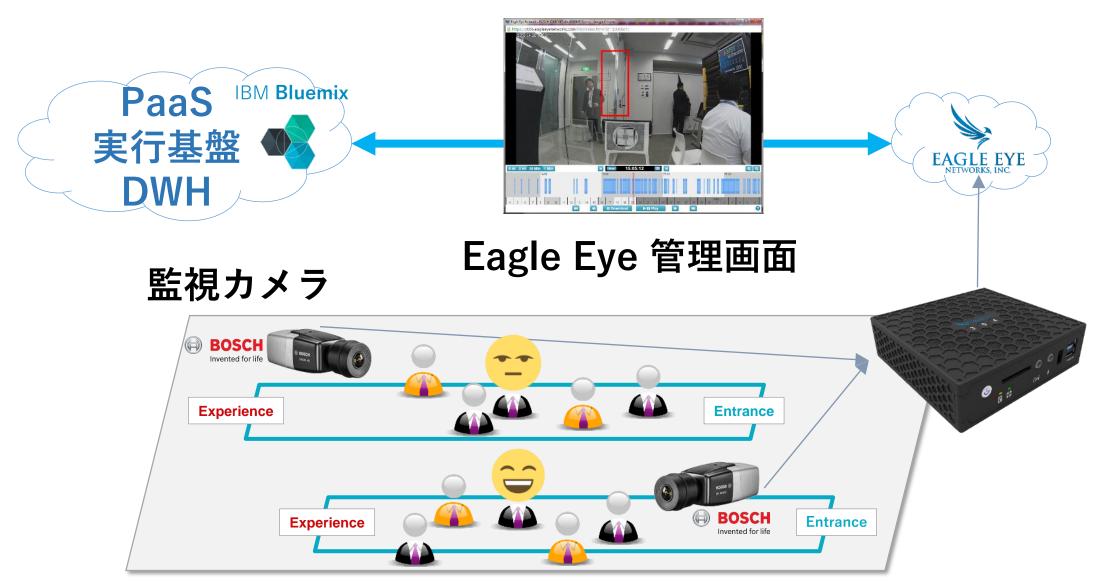


Azureによる 表情認識

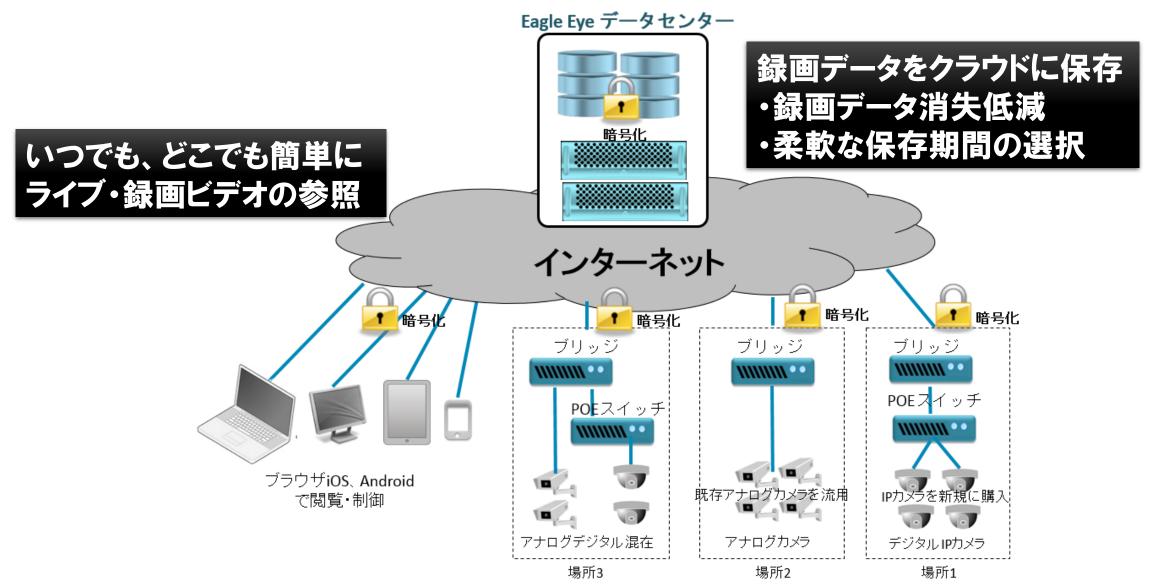


統合した結果

③動画の取得と呼び出し



クラウド型監視カメラソリューション Eagle Eye Networks



⑥簡易BI機能によるグラフ、レポート表示



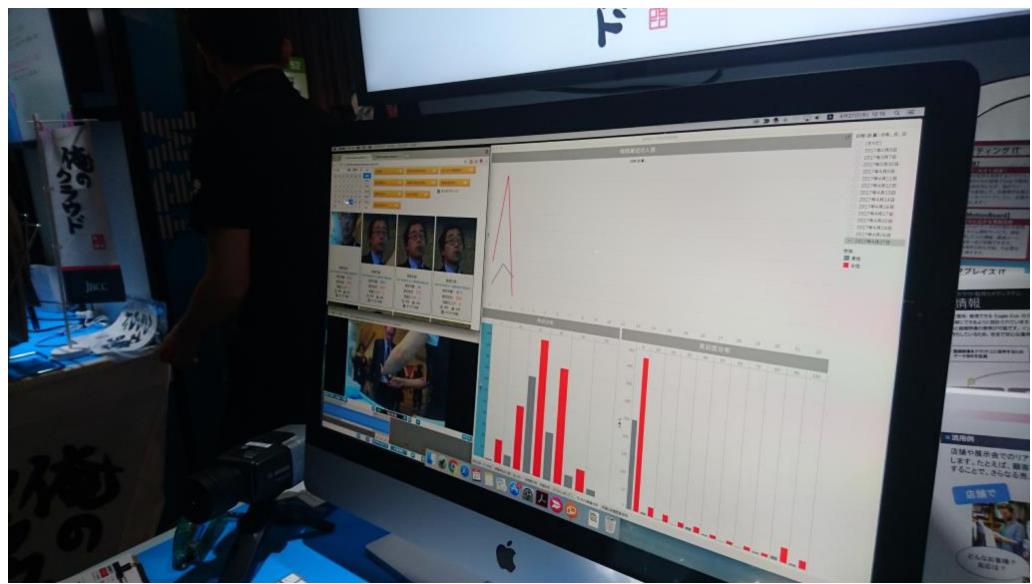
年代(10歳)毎の笑顔度の平均



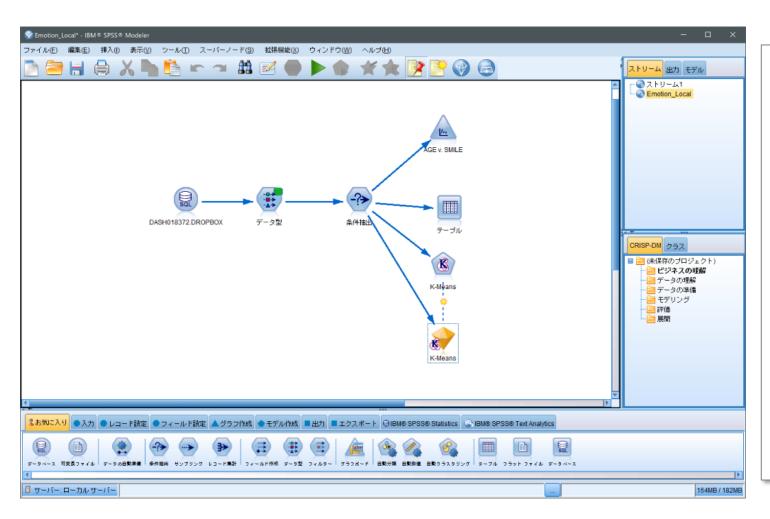
取得対象の年代

AGE	GENDER	SMILE	TIME	\$ _ID
39.7	男性	0.1	2016-12-13T07:04:31Z	7bedc6a8bbe8ce192d9c036e29c06a be
30.9	男性	0	2016-12-13T06:39:10Z	83a32af9c20295d48ad2bf99d193c1 e8
33.8	男性	0	2016-12-13T03:58:03Z	b88e58d7ed425c802c3b9849d9069 33f
23.5	男性	0.1	2016-12-13T00:49:32Z	b1b888b7c57b40c44d5dc5ac917f35
26.4	男性	1.1	2016-12-13T00:04:31Z	a8f906ded95bf66099b48cbb93e857 e3
4				

⑥「クラウド解析」との連携例(IBM Watson Summitに出展)



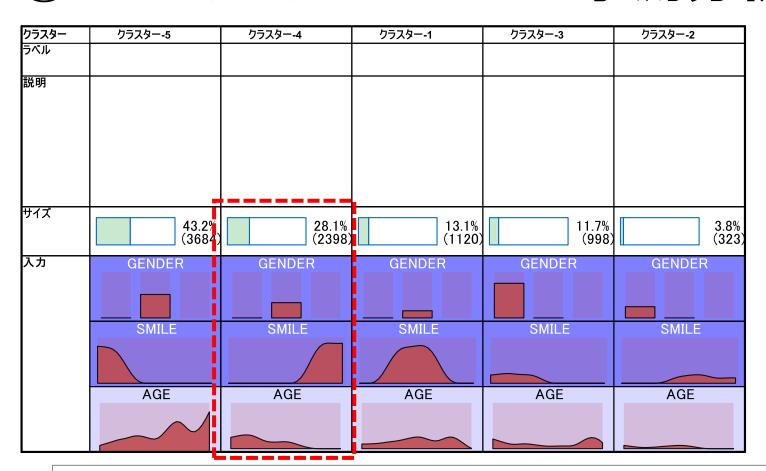
⑦アナリティクスSWによる予測分析



画像から得られる情報 の例

- 顔情報(年齢、性別、表情)
- 顔認証
- ・物体の名称や色
- ・動きや速度

⑦アナリティクスSWによる予測分析(簡単な分析例)



クラスター分析を 利用して 「どの年齢層」で 「どの性別」の 笑顔度が高いのか がひと目でわかる!

企業固有データ(売上明細、会員情報等)と組み合わせてお客様等の「動き」に合わせたマーケティング活用が可能!

監視カメラを使ってデジタルトランスフォーメーション!

・監視カメラとAIを使うことで、今まで以上に簡単に情報資産を生み出すことが可能になりました。

・特に画像のデータや音声データと、企業固有の情報を組み合わせて分析を行なうことで、今まで得ることができなかった深い洞察を得ることが可能になります。

監視カメラの動画の2次利用=マーケティング活用でお客様のデジタルトランスフォーメーションを加速します!

ご清聴ありがとうございました

本セッションの関連ブースは

「ビジネスIT」コーナー 20番 ブース

に展示しております



「顔情報」の取扱について

いわゆる「顔」情報の扱いについて

- ・ 「カメラ画像利活用ガイドブックver1.0」が本年1/31に総務省 から発表
- ・「適用範囲」と「配慮事項(法令ではない)」
- ・ 特に「事前告知」に注意が必要
- ・「特徴量データ」を取り扱うかの是非
- ・ 性別や年令等の「属性情報」は「個人情報」ではない

3.2 カメラ画像の取扱い方

1特徴量データ

取得した画像から人物の目、鼻、口の位置関係等の特徴を抽出し、数値化したデータ。当該データは、特定の個人の識別が可能なため、「個人情報」として適切に扱う必要がある。~中略~それらをデータベースとして保存し利用する場合、検索性があることから、「個人情報データベース等」となる。

平成 29 年 5 月 30 日に全面施行される 改正個人情報保護法では、個人識別符号に該当!

参考: 5通知文面例

ご案内

○○○ **XX店**では、お客様の店舗内での行動履歴を分析するため、カメラ映像を利用しております。

これにより、商品の見つけやすさ、品揃えを改善し、商品棚の欠品を防ぎ より一層のお客様満足度の向上に役立てております。

カメラで撮影された映像は保存せず、お客様の特徴を示すデータを即時に抽出し、店舗内での位置や棚前での行動を座標値として取得しております。 この座標値から、お客様の店舗内での移動・滞留状況および棚から手に取られた商品の分析を行っております。

特徴を示すデータは座標値を取得すると同時に破棄しており、お客様の 行動履歴を推定するデータには、個人を特定する情報を含んでおりません。

なお、データは当社グループのみで利用し、他社へ提供することはございません。

~ ※注釈 ~

・映像から取得・加工・推定・分析しているデータ 【取得】お客様の顔を含む全身画像 【加工】顔を含む全身画像から生成するお客様の特徴を示すデータ 【推定】性別、年代

【分析】店舗内での移動・滞留状況、お客様が手に取られた商品

特徴量を取得すると 個人を特定する情報を 含むことになる



お得意様判別、 万引き抑止などで 特徴量取得を行なう 場合には 事前通知が必須!

「カメラ画像利活用ガイドブックver1.0」の公表

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban18_01000009.html

- ・別紙1 カメラ画像利活用ガイドブックver1.OPDF
- ・別紙2 カメラ画像利活用ガイドブックver1.0概要PDF

本日取得したデータにつきましては全て可及的速やかに削除致します

導入事例

入場許可システム

提案先:大手ゼネコン

(通信事業者工事現場での顔認証)

拠点数: 3拠点 台数: IPカメラ 5台

備考: 現在3拠点だけだが、今後200拠点まで

拡大予定

顔認証導入事例



- 顔認証による入場管理 -

作業者の顔認証による入口の自動開錠を行い、 <u>許可されていない作業者</u>の侵入を防ぎます。

